

STOP THE CORONAVIRUS



宇都宮シニアアンサンブル 代表 真嶋琢平

当アンサンブルも新型コロナウイルス感染防止のため3月から活動を中止しておりましたが7月より月2回のペースで練習を再開致しました。ただコロナ禍が収まるまで大事を取って一休みと言うメンバーも少数おります。

当アンサンブルは令和2年度より「宇都宮シルバーアンサンブル」から「宇都宮シニアアンサンブル」に改名し、指揮指導を鈴木基司先生に代わって水越久夫先生にお願いすることになりました。

毎回の練習は大きな集会室を2部屋続きで使用し、メンバー同士は1.5m～2mの距離を空け弦楽器や鍵盤楽器奏者はマスク、管楽器奏者はフェースシールドを使用し、又先生は透明のシート越しで指揮をしていただいております。練習時間の半ばでは窓やドアを開け放し換気をしております。

しかし残念なことはコロナ禍が収まらない現況では演奏会の機会がほとんど無い状態です。当アンサンブルではブログを開設致しましたので <http://ameblo.jp/use2020/> にアクセスしてみてください。

下妻シニアアンサンブルの近況報告 代表 鳩貝千春

下妻シニアアンサンブルは、2018年6月に発足し、現在17名の団員が在籍しています。古谷譲先生指導の下、千代川公民館で月2回練習を重ねてきました。2019年2月2日には、石岡シニアアンサンブルさんの協力を得、発足記念コンサートを開催し、市民文化祭や公民館祭り、近隣の養護施設ホームなどで訪問演奏をしています。

ヴァイオリン、チェロ、フルート、サクソ、ハーモニカ、ピアノ（キーボード）、ドラムなどの楽器を用いています。現在コロナの影響で十分な演奏活動ができていませんが、練習は続けています。現在はシニアアンサンブルの楽曲の他に、指導者の古谷先生編曲による楽しい曲をどんどん練習してレパートリーを増やし、どんな場面でも演奏できるようにしていきたいと思っております。

四街道シニア・ポップス・オーケストラ 代表 佐々木信一

私たちのシニア・ポップス・オーケストラは、昨年10月7日、結成10周年を迎えました。団員一同、大変嬉しく思っております。思い返せば、長かったようでもあり、短かったようでもあり、それは愉しかったか、楽器の扱いが思うようにいかなかったなどそれぞれの理解の仕方だと考えます。でも発会式に参加したり、初めての定期演奏会に胸をときめかせたり、ボランティアでお客様が涙を流して下さったり、結果的にはいい思い出ばかりが浮かんできます。

さて、そんな中、コロナ禍で何んともし難いのは、皆さん共通の痛恨事だと思います。私たちのオーケストラでも、昨秋の10周年記念定期演奏会を特別のものにしたいと期待を膨らませていたところでしたが……。延期になったことは止むを得ません。が練習場の対コロナ制限かなり解除されて来つつあり、4ヶ月のやすみののち、6月の後半から、マスクの着用と拡散着席ぐらいで、ほぼ平常に戻った練習を続けています。溜ってきているコロナの抑圧をバネとして、さらに高みを目指したいと考えています。演奏会は今年の4月としています。これからも明るい未来を指向して、大いに学び、大いにオーケストラと人生を楽しんでいきたいと思っています。

市川シニアアンサンブル 副代表 高崎 康史

昨年3月、根拠地としている公民館の閉鎖で練習場を失いましたが、6月に演奏が可能な施設を探して練習を再開しました。8月からは公民館も利用できるようになったものの、以前より制約が多いため、未だに練習場の確保には腐心しています。6月の活動再開時の出席団員は約半数で、爾後、徐々に増えてきましたが、依然として健康に不安がある若干名の団員は出席できていません。この様な状況で、団員の帰属意識が希薄になることが懸念されるため、団員への連絡メールの発信を頻繁に行うなどで連携維持に努める他、若い指揮者・野村先生が定期的にYouTubeでオンライン授業（合奏の基礎知識）等を配信してくれています。目下の悩みは、昨年5月に予定していた定期演奏会が延期になり、開催の目途も立たないこと。また、それ故に練習をする目的を見失いがちになることです。加えて、頻りに開催していた「激しく盛り上がる大宴会」が開けないことも残念至極です。